

せんだい防火新聞・冬号

平成 25 年版【第 3 号】

1 年の中で、もっとも火災に気をつけなければならない季節・・・冬の到来です！
ストーブやこたつなど暖房器具が原因での火災が増え、身の回りに多くの火災危険がある季節でもあります！暖房器具を正しく効率的に使用することで、安全で快適に冬を過ごしましょう！！

ストーブが原因で火事になった話

反射式ストーブの火が付いたままカートリッジタンクを外して、灯油を補給しタンクを戻そうとした際に、フタが外れてストーブの火に引火しました。

共同住宅の一室が全焼し、負傷者が発生しました。



ココに注意！

- ・着衣着火は大怪我や死亡にいたる事があります！調理中は常に火がすぐそばにあることを忘れず、注意しましょう！
- ・化学繊維を使用している衣服は燃えやすいので、直接火に触れなくても発生します！
- ・冬は室内でも厚着をすることが多く、着衣着火に気づきにくくなるので気を付けましょう！
- ・台所のほかには、仏壇のろうそくや線香でも着衣着火は発生しています！

ココに注意！

- ・室内に洗濯物を干すときは、ストーブ等から離しましょう！
- ・ストーブ等の周りに燃えやすいものや布団、スプレー缶など置かないようにしましょう！
- ・給油は必ず消火してから！
また、タンクの蓋がしっかりと閉まっていることを確認しましょう！
- ・持越し（古い）灯油を使用すると異常燃焼や故障の原因になります！



調理中に着衣着火した話

自宅台所で、ガスコンロに火をかけて調理中に発生した事例です。

ガスコンロの奥にある調味料を取ろうとして、覆いかぶさるような体勢になったところ、衣服にガスの火が燃え移ったものです。

負傷者が発生しました。



調理中は危険がいっぱい！？

その1 揚げ物に潜む危険

ちょっと話に夢中になると・・・



ミヤギテレビ「OH! バンデス」の「大場クン、これやって！」のコーナーでも紹介されました。鍋の中の油が熱せられて気づかないうちに発火して大きな炎に！

【うんちく】

IH クッキングヒーターでも起こります！
サラダ油類は、発火点（360℃から380℃）まで熱せられると、火種がなくても発火します！



あわてて水をかけてしまうとこんな事に・・・



消火に使った水は、わずかコップ1杯分の150ccほどの水です。
天ぷら油が燃えたときは、絶対に水で消火しようとしてはいけません！

その2 着衣着火の危険



冬は室内も乾燥しています。
実験では、袖口に着火した炎がわずか10秒ほどで肩や首まで燃え上がりました！

お問い合わせ先

仙台市消防局 予防課予防係

電話 022-234-1111